



こんにちは 村田 けい子です

みなさんのご意見・ご要望をお寄せ下さい。ホームページがあります。
フェイスブックやっています。 移動事務所 090-9144-8534
発行/日本共産党立科町議会議員 村田桂子 立科町塩沢1483 ☎0267(56)2868



2025.8.8
№507



えんでこ祭り 町民のエネルギー一大集結！

お天気に恵まれたえんでこ祭り。夕方から行われる踊りに参加するために、浴衣に着替えて会場に。たっぷり20分間、議会連として立科音頭を踊りました。今年も浴衣姿の女性たち、法被姿の男性、みこし連のいなせな女性たち、模擬店を連ねる事業者のみなさんなど、多くの笑顔に会えました。



愛川町商工会が
はるばる参加、く
るくるとハンドル
を回してミサング
を作る体験に子
どもたちが挑戦
していました。



浴衣姿や法被姿な
どお祭り気分を盛
り上げてくれます。

地元商工会に交じつ
て佐久浅科の商工会
の方も参加。
お祭りは、冷たい
飲み物、焼きもちこ
し、焼き鳥などおい
しいものがズラリ。



みこしと太鼓の競演。力強い太鼓の連打と「セイヤ！セイヤ！」の掛け声。まさに若者たち主役のお祭りです。若いエネルギーがほとばしりました。町長のお祭りのメのあいさつの後、夜空に大きな花火が次々と。夏の夜をみんなで楽しみました。

「集落ごとのテントが無くなったのは集まるところが無くて寂しい」との声が。



みこし連のみなさん。
塩沢・赤沢・芦田などそれ
ぞれ工夫を凝らしたみこ
しが練り歩いた。夢科高
校生も、シイナちゃんの
法被を着て参加。若い熱
気で祭り気分は最高潮に。

8.1初参加、津金寺縁日・夜観音

8.1の昼、何度も花火の音が響き「津金寺の夜観音があるよ」と。ずうっと昔から続いている由緒のあるお祭りで、町民は誰でも参加しても良いというので、行ってきました。

津金寺前の通りは歩行者天国にして、安全協会のみなさんが交通整理。両側に提灯が連なる夜道を歩くこと15分で到着。津金時の境内には祭りの屋台が所狭しと並び、イカ焼き・串焼き、焼きそばなど定番の屋台に人だかりがしていました。道路の縁石には家族連れが腰を下ろし待ちます。権現山から打ちあがる花火は遮るものもなく、見ごたえ十分。関係者のみなさんに感謝感謝です。



空に大輪の花 「立科サイコー！」

えんでこ祭りの最後は、コレッ！

お祭り会場にいる全員が夜空を見上げて「オオッッ！」「スゴイッ！」「大きい！」「きれい！」口々に声に出して感動を表します。やはりみんなで同じ時間に同じ会場で同じ体験をすることが

お祭りの醍醐味。普段は皆さん、静かに暮らしていますが、お祭りのときは、みんなで力を合わせて踊り、みこしを担ぎ、エネルギー全開。立科サイコーです。

今週のパチリ！

北佐久郡老人福祉施設組合『佐久良荘』 令和9年に民営化

社会文教建設常任委員長になると「養護老人ホーム佐久良（さくら）荘」を運営する組合議会の議員となるため、「現在指定管理ですが令和9年度には民間に移行！」と聞き、当該議会で質問しました。

Q, なぜ、民間に移行するのか。

A, 行政では資格要件も含め、人材の確保が困難。不可欠な施設なので、ノウハウのある福祉法人に指定管理をお願いしている。

Q, 指定管理のまま、行政が責任を持つ形を続けることで良いのではないか。

A, 令和9年度に民間に移行するため、その移行過程は指定管理にしている。行政として設備改善を進め、民間に移譲することになっている。

重ねて、「運営は指定管理者のまま、責任は行政の形で良いではないか。民間に完全に移行する理由は何か」と尋ねましたが、明確な答えはありませんでした。

今は、2人部屋を全室個室にするための工事を進めており、その過程で、これまで積み上げた財政調整基金は使い果たすこととなります。

Q 民間になることで、利用者の新たな負担が生じることがあるのか

A, 負担は変わらない。

Q民間になると、施設整備などは自前で行うこととなるが、赤字がかさみ、経営が厳しくなったときに、行政が支援する仕組みはあるか。

A, 現在の措置費は、余裕のあるモノとなっており、民間に移行しても、直ちに経営上厳しくなることはないと思う。どのような支援が必要になるかは今後考える。



養護老人ホームは、「老人福祉法により環境上の理由と経済的理由により、自宅での生活が困難な高齢者が、市区町村の「措置」により入所するところ」と位置付けられ、行政が責任を持って高齢者の生活の場を確保し、利用料は所得に応じて徴収することとなっており、最も福祉的な形が残っています。

現在は、施設整備については行政が責任を持ち、運営だけを指定管理者（望月悠玄福祉会）に委託していますが、令和9年度以降は完全民営となる予定です。

現在の枠は 立科町11人、佐久市42人、東御市8人、軽井沢町9人、御代田町7人 合計77人。定員80人

今後の運営について質しました。

○運営費…入所者分の措置費（基本額×人数）
介護保険利用者のサービス費収入
指定管理料

（入所者と扶養義務者は所得に応じた負担金を市町村に収める。市町村は施設側に運営費として支払う）

○施設長寿命化等推進基金による整備費
施設整備…28室ある2人部屋を個室化する工事が進められている。この工事により基金は残らない予定。

5つの2人部屋を個室化…R7年度の予算
5500万円

立科町の住民もお世話になる施設です。民営化されたら利用しづらくなったり、負担が重くなることがあってはなりません。

この議会は年に2回くらいしか開かれませんが、今後は民営化に向かって公募などで業者選定が行われます。共産党の議員が4人も組合議員になりました。共同で研究し、提言ができるように働きたいと思います。

